

## 活 汲 村 物 語

NO. 36

### 活汲村物語～津別町活汲第一 in 小麦「遠藤 農場」

津別町内で小麦単作 130 畝耕作している大規模農家「遠藤 農場」を紹介  
します。平成元年から小麦栽培を取り入れ、約 30 年になりました。

戦後、シベリヤ抑留から帰国した兼夫さんが分家して営農していた。条件  
や気候が悪く地域から離農する近所の土地を引き受け、そこで基礎を作った。

その後、兼夫さんは清掃業を営み、畑は息子さん兼義・昇さん兄弟に任せ  
た。段々と畑が増えて来たので、小麦栽培を取り入れる事になって、今は 3  
代目義継さんに経営が引き継がれている。写真の品種は「ゆめちから」です。

義継さんに話を伺うと「最初は穂発芽  
を出したが、ここ何年かは、収穫は順調  
になった。連作で気を付けているのは深  
起こしと堆肥を入れている。小麦も播種  
時期など奥深い作物です。」畑作から牧  
場経営、そして小麦栽培と変遷を乗り越  
え、まだまだ進化する遠藤農場です。



**トピックス▲** 平昌冬季五輪カーリング女子銅メダリスト、LS 北見の吉田知  
那美選手が 2 月 27 日夜に、常呂町のアドビックス常呂カーリングホール  
に凱旋した際のコメントに感動しました。ここに紹介し、故郷の思いを皆様  
と共感したいです。北海道新聞 3 月 1 日の記事の抜粋です。

吉田選手は常呂で 7 歳からカーリングを始めたと振り返り、「正直、この  
町何もないよね。小さい時はこの町にいても夢はかなわないと思っていまし  
た。でも今は、ここにいなかったらかなわなかったって思っています」

また、集まった多くの子供達に、「みんなもたくさん、夢があると思うけ  
ど、場所とか関係ない。大切な仲間がいたりとか、家族がいたりとか、どう  
してもかなえたい夢があるとか…。この町でもかなえられると思います」

**やさい歳時記●** 津別町ふるさと納税お礼の特産品にヤナ  
セ農園『ふるさと便野菜「活汲村物語」シリーズ』が掲  
載されています。写真はギフトアスパラ□です。



